

**株式会社 松屋 6月上速報**

※数値は速報値ですので、毎月中旬に発表する確定値と誤差が生じることがあります。

店名	売上高 対前年 増減率(%)	概況
銀座本店	-0.4	6月の銀座店は、婦人部門において、帽子・サングラスや傘等の夏雑貨が好調に推移、加えて、国内外のデザイナー等の高価価格帯の婦人服、および、キャリア層に向けた婦人服も、28(金)からスタートいたしましたクリアランスセールも加勢し、売上高は前年を上回りました。一方、免税売上高につきましては、ラグジュアリーブランドを軸とした一般品とともに、化粧品に代表される消耗品の売上高が前年を下回りました(免税売上高前年比▲0.2%)。免税売上高は、店全体の売上高の25%程度を占めることにより、この前年割れの売上が全体を下振れさせる要素となりましたが、時計や宝飾品等の高額品、婦人靴・バッグ等の好調な売上が牽引したことで、店全体の売上高は僅かに前年を下回るにとどまりました(銀座店売上高前年比▲0.2%)。なお、免税売上高を除く国内のお客様の売上高は、今月も堅調に付き前年を上回りました(前年比+1.4%)。 浅草店は、主力となる食品と化粧品の伸び悩みが要因となり、店全体としての売上高は前年に届きませんでした。

※ 上記「銀座本店」の数値は、「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。

※ 「6月上報告」は、7/12(金)の開示を予定しております。

(ご参考)

銀座店	-0.2	「銀座店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。
浅草店	-1.9	「浅草店」のみの売上高対前年増減率(%)を表記いたしております。